

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 89 2015年2月

発行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第23回春季信頼性シンポジウム発表募集のご案内 【追加募集】

- (日時) 2015年6月30日(火) 13:00～19:00 (時間は予定です)
- (会場) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル
- (主催) 日本信頼性学会
- (後援) 一般財団法人日本科学技術連盟
- (協賛) 公益社団法人応用物理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 一般社団法人電気学会,
一般社団法人日本機械学会, 公益社団法人日本経営工学会, 一般社団法人日本品質管理学会,
特定非営利活動法人安全工学会, 一般社団法人研究・技術計画学会, 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会, 一般社団法人日本開発工学会, 日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間工学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会, IEEE Reliability Society Japan Chapter

<発表のおすすめ>

例年のごとく総会に併せて春季信頼性シンポジウムを開催いたします。わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思いますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思います。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

<学会誌への投稿推薦のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの1～2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌「信頼性」への投稿を推薦しています。推薦された発表が投稿された際には、通常よりも短い期間で審査が行われます(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。また、推薦された論文が掲載可と判定された場合には、掲載時に必要となる諸費用が一部免除されます。

<予定セッション構成>

1. [組織, 管理, 規格, プロジェクト管理面]: 生産システム, 組織改革, 管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例. 管理手法適用事例, 人間信頼性, 社会との関わり, または新手法.
2. [試験, 故障解析, 部品, 要素技術の信頼性, ハードウェア面]: 部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析, 物性 (接続, 接着, 腐食, 摩耗, 疲労, マイグレーションなど), 全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例.
3. [システムの信頼性, 保全性, ライフサイクルおよびソフトウェア面]: システムまたはソフトウェアの信頼性, 保全性, ライフサイクルコスト, リサイクル, リユース, 保全支援活動の設計, 解析, 保証事例・改善事例など.
4. [安全性, リスク]: 産業安全, 製品安全, リスク解析など.
5. [データ収集, 解析]: 情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など.
6. [理論, 一般]: 基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など.

<参加費と発表者の特典>

[シンポジウム参加費] 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 2,000 円, 非会員 3,500 円, 学生 1,000 円
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者は情報交換会にご招待いたします.

<発表申込方法>

申込方法 「発表申込書」に発表概要を記載の上, 電子メールにてお申し込み下さい. 申込書の Word ファイルは学会ホームページにあります.
→ <http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=49>
または, 「信頼性」誌 1 月号の申込書をコピーして FAX にてお申送ください.

申込期限 2015 年 4 月 10 日 (金) まで【延長しています】

審査結果 2015 年 4 月 17 日 (金) 頃までにご連絡いたします.

発表原稿締切 2015 年 5 月 18 日 (月) ワープロで A4 判 2 枚または 4 枚

申込先 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 IECディペンダビリティ規格研究会

信頼性, 保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格 IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です. 会合は, 月一回. いつからでも入会できます.

(日 時) 2015 年 3 月 31 日 (火) 18:30~21:00

(場 所) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル会議室 (杉並区高円寺南1-2-1)

(東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅から青梅街道を新宿方向へ徒歩約 5 分, 「和田三丁目」交差点手前)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ, 保全性プログラムの適用の手引き, IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います. 規格の翻訳とその内容の審議を行い, 適用上の問題点を明確にし, 最終的に訳文書と解説書を作成します. 理解を広める上で必要な関連規格, 60300-3-11: Reliability centered maintenance, 60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します. 前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審

査及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。

(連絡先) 主 査 山内 慎二 (自宅) Tel/Fax 03-3948-7364
副主査 黒田 豊 (自宅) Tel/Fax 042-563-1501

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は、信頼性シンポジウム、学会誌『信頼性』、解説書（『ライフサイクルコストリング—研究会は、信頼性シンポジウム導入と適用事例—』）の発行を通じて、Lcc (Life cycle costing) に関する様々な研究成果を発表するとともに、Lcc の啓発活動もおこなっています。

年に4回ほど、原則として金曜日の夜に東高円寺の日科技連ビルに集まり、2時間にわたる研究会を開催しております。前半の1時間は情報交換と称し、各メンバーが前回研究会から研究会当日までの間に収集したLccに関する情報提供などを行います。後半の1時間は毎回担当を決めて各自の最新の研究成果を報告し、質疑応答および討論を行います。なお、研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き、Lccに関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります。当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です。

私たちと一緒にLccの研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lccに少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場にお越しください。お待ちしております。

(日 時) 2015年5月29日(金) 18:00~20:00

(場 所) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル会議室(杉並区高円寺南1-2-1)

(東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅から青梅街道を新宿方向へ徒歩約5分、「和田三丁目」交差点手前)

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com
同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

日本信頼性学会 故障物性研究会 4月例会 (第119回)

(日 時) 2015年4月17日(金) 13:00~17:00

(場 所) 日本科学技術連盟 新本部事務所(西新宿) Room-A

(東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4階)

<http://www.odakyu-fudosan.co.jp/cgi-bin/map/map.cgi?l=92>

(議 題)

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1) 幹事会からの連絡事項 | 13:00~13:15 |
| ・新入会員の紹介、オブザーバの紹介 | |
| ・第45回信頼性・保全性シンポジウム情報 | |
| ・日本信頼性学会情報、その他 | |
| 2) プレゼン | |
| ①不揮発性メモリの信頼性評価 沖エンジニアリング(株) 長野 真人氏 | 13:15~13:55 |
| ②最新X線CT市場動向 会員 清宮 直樹氏 | 13:55~14:35 |
| (休憩) | 14:35~14:50 |

3) 紹介&議論

①知の市場関連講座 14:50～15:30

NITE講座「製品安全のためのリスクガバナンス」の紹介

会員 神山 敦氏

②故障物性研究会分科会報告 15:30～16:50

- ・電子部品実装はんだ分科会 世話人 平山 良彦氏
- ・ウィスカ/マイグレーション分科会 リーダ 斎藤 彰氏
- ・その他

4) 今後の予定 16:50～17:00

- ・6月例会（第120回）開催案内（案）

6月19日（金）13:00～17:00，日科技連 西新宿 新本部 Room-E

- ・その他

（連絡先） 日本信頼性学会 事務局 reaj@juse.or.jp
故障物性研究会 主査 土屋英晴 hideharu-tuchiya@anden.co.jp
副主査 味岡恒夫 ajioka542@oki.com

●4月開催の第119回例会にご参加希望の方は、4月3日（金）までに事務局宛にご連絡ください。

（E-mail：reaj@juse.or.jp）

日本品質管理学会 第152回シンポジウム 未来の品質管理に光をもたらすものは 徹底討論「SQC VS ビッグデータ」

2012年ころからビッグデータという言葉があちこちで聞かれるようになりました。マーケティングや製造の現場でも実践的な利用が始まっています。

一方、日本的品質管理の世界では、検定・推定を始めとする各種統計手法を積極的に利活用している。どちらもデータから出発するという明確な「事実ドリブン」な方法論ではあるが、向いている方向は真逆のようにも見えます。マーケットだけではなく、ものづくりの現場もグローバル化、ボーダレス化が進行する明日の品質管理において、私達はどちらに光を求めればよいのだろうか。

本シンポジウムでは、斯界の第一人者をパネラーとしてお招きし、顧客満足を通じてビジネスの成功を勝ち得るといふ品質管理の観点から、徹底的に討論いたします。

（日 時） 2015年3月26日（木）10:00～17:05

（場 所） 日本科学技術連盟 東高円寺ビル 地下1階講堂

（主 催） 日本品質管理学会

（協 賛） 日本信頼性学会 他

（連絡先） 一般社団法人日本品質管理学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 TEL03-5378-1506 FAX03-5378-1507

E-mail：office@jsqc.org

詳細は、<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h270326> をご参照ください。

2015年度 第1回 OR セミナー 「統計分析の基本 – データを用いて意思決定する方法を学ぼう」

いまや流行り言葉になっている「ビッグデータ」。OR は、定量的な情報から意思決定をすることに強みがあるはずですが、理論研究と実務への適用の両面を目指している OR 学会としても、データを目の前にしたときにひるむことなく、立ち向かえる人を増やしたいと考えています。今回、統計の専門家お二人をお招きし、データを目の前にしたとき、統計分析の観点ではどう対象を捉えて、どう分析しているのか、いくつかの実際の例を交えてご解説いただきます。

- (日 時) 2015年 5月30日(土) 10:25~18:00 (9:45 開場)
(場 所) 政策研究大学院大学 講義室 5階 (港区六本木 7-22-1)
(主 催) 日本 OR 学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(参加費) 正会員・協賛学会員 5,000 円, 学生会員 1,000 円, 学生非会員 1,500 円, 非会員 20,000 円
(連絡先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mai : jimukyoku@orsj.or.jp
詳細は、<http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015 ROBOMECH2015 in Kyoto

本講演会は、我国のロボティクス・メカトロニクスに関する学術研究を牽引する重要な講演会で、1988年からスタートし 2015年で 27 回目を迎えます。学術講演はすべてポスター形式で行われ、十分な議論と交流の時間を確保しているのが大きな特徴です。本講演会は、先進的な研究成果の発表の場であると同時に、産学官の意見交換・交流の場を提供する大きな役割を担っています。

- (日 時) 2015年 5月17日(日) ~19日(火)
(場 所) 京都市勧業館「みやこめっせ」
(主 催) 日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(連絡先) ROBOMECH2015 実行委員会
E-mail : robomech2015ec@ci.ritsumeai.ac.jp
詳細は、<http://robomech.org/2015/> をご参照ください。

日本人間工学会 第56回大会

- (日 時) 2015年 6月13日(土) ~14日(日)
(場 所) 芝浦工業大学 芝浦キャンパス (東京都港区芝浦 3-9-14)
(主 催) 日本人間工学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(参加費) 会員・協賛学会員 10,000 円, 非会員 12,000 円

(5/18 までの事前割引：会員・協賛学会員 8,500 円，非会員 10,000 円，学生割引あり)

(連絡先) 一般社団法人日本人間工学会第 56 回大会事務局

芝浦工業大学デザイン工学部 吉武良治 (大会長)

〒108-8548 東京都港区芝浦 3-9-14 E-mail : info@jes2015.jp

(運営事務局) 株式会社ドーモ内

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-9-6 十全ビル 4 階

TEL03-5510-7923 FAX03-5510-7922 E-mail : registration@jes2015.jp

詳細は、<https://www.ergonomics.jp/conference/2015> をご参照ください。

2015 年度 (第 53 回) 日本接着学会年次大会

2015 年度の年次大会は東海地区、愛知工業大学八草キャンパスで開催致します。これまでと同様に「特別講演」「各受賞講演」、研究発表として「ポスター発表」と「討論発表」を行いません。今回の特別講演は、注目の接着分野として航空宇宙と再生医療に焦点を当て、ボーイング社 顧問小笠原和夫氏 (元三菱重工業株式会社航空宇宙事業本部)、京都大学再生医科学研究所 教授田畑泰彦氏をお招きします。研究発表とともに奮って参加下さるようお願い申し上げます。

会場へは、名古屋駅より地下鉄東山線とリニモを乗り継ぎ、八草駅よりシャトルバス (無料) にてアクセスできます。リニモの沿線には、シンクロトロン光利用施設を併設する「知の拠点あいち」やトヨタ博物館、陶磁資料館がございます。

(日 時) 2015 年 6 月 19 日 (金) ~20 日 (土)

(主 催) 日本接着学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 愛知工業大学 愛知会館他 (豊田市八草町八草 1247)

(申込・問合先) 一般社団法人日本接着学会 事務局

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-2-20 コア日本橋ビル 2 階

TEL 06-6634-7561 FAX 06-6634-7563 E-mail : info-hnb@adhesion.or.jp

詳細は、<http://www.adhesion.or.jp/nenkai2015> をご参照ください。

安全工学シンポジウム 2015

日本学術会議主催「安全工学シンポジウム 2015」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

(日 時) 2015 年 7 月 2 日 (木) ~3 日 (金)

(主 催) 日本学術会議 総合工学委員会

(共 催) 土木学会他 32 学協会 (予定)

(会 場) 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34)

(交 通) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口

(参加登録) なし。当日直接会場にお越しください

(参加登録費) 無料。講演予稿集は希望者に配布します (予価 1 部 5,000 円。但し、学生は 1 部 2,000 円)

(注意事項) 会場内における参加者個人での録音, 撮影は禁止いたします。

(申込・問合せ先) 安全工学シンポジウム 2015 (幹事学会)

公益社団法人土木学会 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目外濠公園内

E-mail anzen2015@jsce.or.jp TEL 03-3355-3559 FAX 03-5379-0125

詳細は, <http://www.anzen.org/index.html> をご参照ください。

第 32 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

電気学会センサ・マイクロマシン部門では, 第 32 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムを開催します。本シンポジウムは学・協会を超えた研究グループ間の情報の交換, アイデアの討議の場としてセンサ・マイクロマシン技術のさらなる発展を目標に開催される日本最大のシンポジウムです。多くの方のご投稿, ご参加をお待ちしています。今回は, センサ・マイクロマシン部門 (E 部門) 創立二十周年を記念して, 部門や調査委員会の歴史と今後の展開に関するご講演や次世代の若手研究者による企画などの特別企画を実施する予定です。ふるってご参加ください。

(日 時) 2015 年 10 月 28 日 (水) ~30 日 (金)

(主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 朱鷺メッセ (新潟県新潟市)

(発表申込締切) 2015 年 6 月 8 日 (月)

(申込・問合せ先) 「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局

株式会社セミコンダクタポータル TEL 03-5733-4971 FAX 03-5733-4973

E-mail : sensorsympo_2015@semiconportal.co

詳細は, <http://www.sensorsymposium.org/> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
日本品質管理学会第 152 回シンポジウム 未来の品質管理に光をもたらすものは	日科技連 東高円寺	2015/3/26		http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h270326
<u>IEC ディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 東高円寺	2015/3/31		http://www.reaj.jp/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 本部 (西新宿)	2015/4/17	2015/4/3	http://www.reaj.jp/
ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015 ROBOMECH2015 in Kyoto	京都市勧業館「みやこめっせ」/京都市	2015/5.17-19		http://robomech.org/2015/
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 東高円寺	2015/5/29		http://www.reaj.jp/
第 1 回 OR セミナー「統計分野の基本データを 用いて意思決定する方法を学ぼう」	政策研究大学院大学 港区六本木	2015/5/30		http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html
The Ninth International Conference on Mathematical Methods in Reliability	筑波大学東京キャン	2015/6/1-4	2015/1/20	http://mmr2015.org/

	バス文京校舎 東京都文京区			
日本人間工学会 第56回大会	芝浦工業大学 港区芝浦	2015/6/13-14		https://www.ergonomics.jp/conference/2015
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 本部（西新宿）	2015/6/19		http://www.reaj.jp/
2015年度（第53回）日本接着学会年次大会	愛知工業大学 豊田市	2015/6/19-20		http://www.adhesion.or.jp/nenkai2015
<u>日本信頼性学会</u> <u>第23回春季信頼性シンポジウム</u>	日科技連 東高円寺ビル	2015/6/30	2015/3/20	http://www.reaj.jp/
安全工学シンポジウム 2015	日本学術会議 東京都港区	2015/7/2~3	2015/3/13	http://www.anzen.org/index.html
日本科学技術連盟 第45回 信頼性・保全性シンポジウム	日本教育会館 東京都千代田区	2015/7/16-17	2015/2/2	http://www.juse.or.jp/reliability/284/
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 東高円寺	2015/10/2		http://www.reaj.jp/
第32回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム	朱鷺メッセ 新潟市	2015/10/28-30	2015/6/8	http://www.sensorsymposium.org/